

作成年月日	平成27年8月3日
作成部局	企画県民部災害対策局
課室名	災害対策課

平成27年度兵庫県・播磨広域合同防災訓練の実施概要

兵庫県及び播磨広域連携協議会の主催により、防災関係機関・団体、自主防災組織等が相互に連携した総合防災訓練を実施し、応急対策に関する確認・検証を行うとともに、防災関係機関の連携強化、県民の防災意識の高揚を図り、地域防災力の向上に資する。

1 実施日

平成27年8月30日(日) 9:00～13:00

2 実施場所(全体図:別紙1)

東播磨・北播磨地域の全市町

3 主催

兵庫県・播磨広域合同防災訓練実行委員会

〔構成:兵庫県、明石市、加古川市、高砂市、西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、
稲美町、播磨町、多可町、播磨広域連携協議会〕

4 参加機関・団体

兵庫県、明石市、加古川市、高砂市、西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、稲美町、播磨町、多可町、播磨広域連携協議会、関係市町消防機関、兵庫県警察、陸上・海上自衛隊、海上保安庁、神戸地方気象台、近畿地方整備局、鳥取県、兵庫県災害医療センター・日本赤十字社・兵庫県医師会・兵庫県看護協会等医療関係機関、ライフライン関係機関、兵庫県トラック協会、日本レスキュー協会、兵庫県防災士会、自主防災組織等

約150機関(H26年度85機関)

5 訓練想定災害

山崎断層帯(大原・土万・安富・主部南東部)を震源とするマグニチュード8.0の地震が発生し、東播磨・北播磨地域では最大震度7を観測。多数の家屋が倒壊し、ライフライン施設に甚大な被害を受け、山間部では土砂崩落により集落が孤立。多数の負傷者が発生している。

6 訓練の特徴(詳細:別紙2)

〈多会場連携型の訓練〉

① 三木総合防災公園における拠点運営訓練

- 県災害対策本部事務局等の設置・運営とフェニックス防災システム等を活用した各市町との情報連絡訓練
- 実動機関の集結と各市町に向けての進出訓練、救出・救助訓練
- 各市町への救援物資搬送訓練と応援物資受入訓練
- DMATによるSCU開設、各会場からSCUへの負傷者搬送

② 各市町における自助・共助を中心とした自立型応急対応訓練

- 県災害対策本部事務局とのフェニックス防災システムによる情報連絡訓練
- 住民による初期消火・救出・応急手当訓練、水防工法訓練
- 避難所・福祉避難所・ボランティアセンターの設置・運営訓練

7 訓練内容

場 所	区 分	訓 練 内 容
三木総合防災公園	本部運営等	対策本部事務局設置・運営、先遣隊調査、連絡調整 TV会議、部隊集結・進出
	救出・救助	倒壊家屋・倒壊ビル・土砂崩落・列車事故・高層建物からの救出
	救急医療	応急救護所・SCUの開設・運営、負傷者搬送
	交通対策	道路啓開、放置車両撤去、交通規制等
	救援物資搬送	陸路・空路による物資搬送、物資受入
	被災者支援	外国人を対象とした避難所設置・運営訓練等
東播磨・北播磨各市町会場	本部運営	災害対策本部設置・運営、現地指揮所設置・運営 先遣隊調査
	初期対応	住民による消火・救出・応急手当
	救出・救助	被害調査、消火、道路啓開、倒壊家屋からの救出
	救急医療	応急救護所開設・運営、空路での負傷者搬送
	救援物資搬送	陸路・空路・海路による救援物資搬送、物資受入 給水車による応急給水
	被災者支援	避難所及び福祉避難所の設置・運営 ボランティアセンター設置・運営
	防災講習	図上訓練

〈連携訓練〉

- ① ヘリによる被害調査(警察、国交省)
- ② 防災拠点から災害現場へ応援部隊の派遣(警察、陸上自衛隊)
- ③ 消防、警察、自衛隊、医療等との連携による救出・救助
- ④ ヘリによる他会場からSCUへの負傷者搬送(陸上自衛隊、海上保安庁、ドクヘリ、県)
- ⑤ 陸・空・海路による物資搬送(陸上・海上自衛隊、海上保安庁、鳥取県、トラック協会)
- ⑥ フェニックス防災システムによる映像配信・TV会議などの情報通信(県・市町・国交省)

〈問い合わせ先〉

企画県民部災害対策局災害対策課 訓練・指導班 TEL 078-362-9810

平成27年度兵庫県・播磨広域合同防災訓練

- 【凡例】
- ← DMAT、負傷者の搬送
 - ← 救援物資の搬送
 - ← 部隊・職員等の派遣



但馬空港 (但馬広域防災拠点)

西脇市
死者1名、全壊2棟
・給水支援(給水車→加西市)

加西市(市役所、公民館)
死者83名、全壊1,315棟
・災害対策本部設置運営
・避難所設置運営
・HUGによる図上訓練
※HUG: 避難所運営ゲーム

小野市(市役所周辺)
死者325名、全壊5,121
〔福祉総合支援センター〕
・福祉避難所設置運営
〔伝統産業会館〕
・応急手当、心肺蘇生
〔防災センター周辺〕
・救出救助、初期消火
〔市役所周辺〕
展示ブース

陸上自衛隊 姫路駐屯地

播磨広域連携協議会
(西播磨・中播磨地域の11市町から搬送)
高砂市(福祉センター等)
死者331名、全壊5,270
〔ユーアイ交流福祉センター〕
・ボランティアセンター設置
〔高砂西港・加古川河川敷〕
・救援物資搬送

加古川市(兵庫大学)
死者748名、全壊11,810
・初期消火
・救出救助
・負傷者搬送
・応急救護所設置・応急処置
・煙体験
・救援物資搬送(受入)

播磨町(役場・新島) 死者51名、全壊797棟
・救援物資搬送
・負傷者搬送

稲美町(いきがい創造センター)
死者38名、全壊594棟
・避難所設置運営
・福祉避難所設置運営

多可町(役場、3中学校)
死者1名、全壊2棟
・災害対策本部設置
・避難所設置運営
・水防工法
・ボランティア受入

ヘリによる被害調査
県警ヘリ: 東播磨
国交省ヘリ: 北播磨

加東市(やしろ地区) 死者95名、全壊1,481棟
〔孤立集落対策(やしろ台、山口地区)〕
・対策本部(市役所)
・現地指揮所設置(公民館)
・先見調査
・避難誘導
・避難所設置運営(小学校)
・救援物資受入
・救出救助、負傷者搬送
・道路啓開

三木市(市役所、公民館等)
死者369名、全壊5,961棟
〔市役所(みつきいホール)〕
・災害対策本部設置運営(情報伝達)
・救援物資搬送
〔公民館等2カ所〕
・避難所設置運営
・救援物資受入

三木総合防災公園

・本部事務局設置運営(連絡調整)
・応援部隊進出(自衛隊、警察)
・救出救助
・負傷者搬送
・医療救護所設置運営
・SCU設置運営
・医薬品搬送(受入)
・物資集積拠点設置運営
・物資搬送
・物資受入、仕分け
・緊急交通路確保(道路啓開)
・避難所設置運営(外国人に対する防災講習)

加古川医療センター
(災害拠点病院)

明石市(兵庫県立大学)
死者51名、全壊837棟
・被害調査
・救出救助
・応急救護所設置運営
・負傷者搬送
・消火(家屋火災)
・広報
・道路啓開
・救援物資搬送

阪神南広域防災拠点

兵庫県災害対策センター
・兵庫県災害対策本部
(広域防災センターに仮設)

海上自衛隊阪神基地隊
第五管区海上保安本部

1 広域防災拠点の機能を生かした実戦的訓練

場所	三木総合防災公園(三木全県広域防災拠点)
概要	<p>1 応急対策</p> <p>① 広域防災拠点に部隊が集結し、車両・ヘリで災害現場に出動する。</p> <p>② 南グランド内の訓練施設を被災した市街地と想定し、消防、自衛隊、警察、医療機関、レスキュー協会が相互に連携した救出・救助活動を行う。</p> <p>③ DMATを派遣してSCUを開設し、重篤患者の受入、広域搬送等の医療活動を行う。</p> <p>2 物資の配送・集積</p> <p>① 備蓄物資をトラック協会等の協力を得て市町に配送する。</p> <p>② ボランティアの協力を得て応援(義援)物資の受入や仕分けの作業を行う。</p>

2 交通対策訓練

場所	三木総合防災公園
概要	県管理の道路を緊急交通路として確保するため、瓦礫や放置車両の撤去、交通規制など、災害対策基本法の改正に伴う訓練を実施する。

3 孤立集落対策

場所	加東市(やしろ台地区・山口地区)
概要	<p>大規模な土砂崩落により集落が孤立したとの想定に基づいて各種訓練を実施</p> <p>①先遣隊調査→②現地指揮本部の設置→③応援部隊の派遣→④道路啓開→⑤救出・救助→⑥負傷者搬送</p> <p>※ 住民避難、避難所開設・運営の訓練も実施</p>

4 自立型応急対応訓練

概要	<p>①自主防災会、小中学生による訓練(加古川市、小野市、多可町) 初期消火、救出・救助、応急処置、水防工法</p> <p>②避難所、福祉避難所、ボランティアセンターの設置・運営訓練(高砂市、稲美町、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町)</p> <p>③外国人を対象とした避難所設置・運営訓練及び防災講習(三木総合防災公園)</p>
----	--

5 フェニックス防災システム等による情報通信訓練

概要	<p>広域防災センターに設置する県災害対策本部事務局(仮設)及び拠点本部と、市町災害対策本部(三木市、加西市、加東市、多可町)及び現地指揮本部(加東市)の間で、フェニックス防災システム等を活用し情報収集を行う。</p> <p>①災害現場で携帯端末、ドローンにより撮影した映像を県本部事務局に送信</p> <p>②県本部事務局と市町本部・現地本部とのTV会議</p> <p>③災害現場で国土交通省近畿地方整備局が撮影した映像を県本部に送信</p> <p>④各市町で被害等を入力し、県で取りまとめを行う。</p>
----	--

6 広域連携訓練

概要	<p>①但馬空港内の但馬広域防災拠点から鳥取県防災ヘリにより、救援物資を三木総合防災公園に搬送</p> <p>②阪神南広域防災拠点から、海上自衛隊及び海上保安庁の船舶により、救援物資を高砂市に搬送</p>
----	--

